



能登へ急げ 飲料水や職員派遣

自治体・NGO 支援動く

1日夕に起きた石川県能登半島地震の被災地を支援しようと、県内でも2、3

支援物資を積み込む総社市職員ら＝総社市役所、同市提供

日、総社市や高梁市などの自治体や民間団体が動き出した。

石川県かほく市から支援要請を受けた総社市は、地元の天然水を送ることにし

た。3日朝、5000リットル入りペットボトル48

00本を積み込んだトラックが市役所前を出発。笠岡

市の依頼で同市の水も載せ、支援物資の集配拠点と

なっている石川県小松市を目指した。

総社市は2日にも同県七尾市に職員3人を派遣した。3人は東日本大震災や熊本地震でも現地入り

した経験があるという。被災地のニーズを聞き取り、支援に生かす一方、七

尾市職員と一緒に活動する。赤磐市も職員を派遣、

高梁市は備蓄用飲料水を送った。

また、岡山市に本部を置く国際医療NGO「A

MDA（アムダ）」も2日に現地で調整にあたる2人を派遣した。

（原口晋也）